

# 地域再生計画

## 1 地域再生計画の名称

わかやまジビエ利活用による新産業創出

## 2 地域再生計画の作成主体の名称

和歌山県

## 3 地域再生計画の区域

和歌山県の全域

## 4 地域再生計画の目標

和歌山県では、野生鳥獣による農作物被害額が3億円を超えており、捕獲を重点に防護、人材育成、環境整備など鳥獣被害対策を総合的に推進している。

本計画では、単に被害対策に取り組むのではなく、捕獲したイノシシ、シカを県産品「わかやまジビエ」として獣肉供給し、有効活用できるよう、獣肉需要の拡大、品質の確保、安定した獣肉供給を支える人材養成に取り組み、ジビエ消費と販路の拡大に伴う新たな産業を創出し、中山間地域の活性化を図る。

### 【数値目標】

	平成29年3月末	平成30年3月末	平成31年3月末
わかやまジビエ販売額	2,500千円	3,000千円	4,000千円

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

捕獲したイノシシ、シカを県産品「わかやまジビエ」として獣肉供給し、有効活用できるよう、獣肉需要の拡大、品質の確保、安定した獣肉供給を支える人材養成に取り組む。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

#### 地方創生推進交付金【A3007】

#### 1 事業主体

和歌山県

#### 2 事業の名称及び内容：

##### ・地域を支える人材育成

有害鳥獣から農地を守るため、県、市町村、狩猟者、農業者等が連携し、被害をくい止め得る人材を育成していく。

##### ・わかやまジビエの振興

獣肉処理業者、料理店、県猟友会等を構成員とする「わかやまジビエ振興協議会」を平成28年度に設立。県と協議会が連携し、「わかやまジビエ」の安全・安心を広く普及させるため、全国に先駆けて創設した「わかやまジビエ処理施設衛生管理認証制度」や「わか

やまジビエ肉質等級制度」のPRや、「わかやまジビエ」を用いた料理人向け料理講習会、また学校給食へのジビエ提供などにより、一般の消費者にも「わかやまジビエ」の魅力を発信。

・ジビエPRイベント等の開催

NPO法人日本ジビエ振興協議会が平成28年11月に和歌山市で開催する第3回日本ジビエサミットと連動し、「わかやまジビエ」PRイベントを開催することで、全国のジビエ関係者と課題を共有し意見交換を行うとともに、「わかやまジビエ」の先駆性をアピールする。

3 事業が先駆的であると認められる理由

【自立性】

・初動期間は県主導で「わかやまジビエ」の需要拡大・販路拡大につながるイベントや料理講習会等を実施していくが、さらなる需要拡大・販路拡大に向けては民間事業者で構成する「わかやまジビエ振興協議会」が自立的に取組を展開できるよう、徐々に民間主導に移行していく。

【官民協働】

・県、全30市町村、猟友会、解体処理者、旅行会社、農業者等が一体となり、県内農作物被害対策、ジビエの振興に取り組む。

【政策間連携】

・捕獲された獣肉を廃棄することなく、適切な衛生的措置と肉質に応じた等級別振り分けにより、地域や都市部の料理店で特産品「わかやまジビエ」として提供するとともに、新たな加工品を開発することで、「ジビエ産業」を創出する。

・また「わかやまジビエ」が普及・定着することは、鳥獣を捕獲するインセンティブになり、狩猟者人材の確保にもつながり、本県の基幹産業である農業の被害軽減に資するものである。

【地域間連携】

・野生鳥獣被害対策は、「果樹王国」をうたう本県にとっては喫緊の課題であり、県内全ての市町村において、農業者が事業者と連携した取組を実施する。

4 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

	平成29年3月末	平成30年3月末	平成31年3月末
わかやまジビエ販売額	2,500千円	3,000千円	4,000千円

5 評価の方法、時期及び体制

毎年5月に、産学金の外部有識者による評価委員会で検証を実施し、検証結果を県議会半島振興・地方創生対策特別委員会に報告するとともに、目標値に届かない場合は事業内容の見直しを実施する。検証結果は県HPで公表する。

6 交付対象事業に要する費用

①法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

・総事業費 159,464千円

## 7 事業実施期間

地域再生計画認定の日から、平成31年3月31日（3カ年度）

### 5-3 その他の事業

#### 5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

#### 5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

## 6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成31年3月31日

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

### 7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

毎年5月に、産学金の外部有識者による評価委員会で検証を実施し、検証結果を県議会半島振興・地方創生対策特別委員会に報告するとともに、目標値に届かない場合は事業内容の見直しを実施する。

#### 目標

- ・わかやまジビエ販売額は、販売単価及び処理頭数を解体処理事業者から聞き取って算出する。

### 7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

	平成27年3月末 基準	平成29年3月末	平成30年3月末	平成31年3月末 最終目標
わかやまジビエ販売額	1,935万円	2,500万円	3,000万円	4,000万円

### 7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の方法

検証結果は毎年、県ホームページで公表する。